

特別委員会の中間報告(要旨)

今臨時会において、交通網・都市基盤整備調査特別委員会、待機児童・子どもの貧困対策調査特別委員会、災害・オウム対策調査特別委員会及びエリアデザイン調査特別委員会が中間報告を行いました。

交通網・都市基盤整備調査特別委員会

本特別委員会は、交通網の整備及び誘致促進並びに都市基盤整備に関する調査研究を進めてきました。

都市交通施策について

区総合交通計画の改定とともに、バス路線網や交通広場の整備、公共交通空白地域の解消、新たな交通サービスの実現を進めていくことが求められます。

北綾瀬駅整備について

工期延伸に伴い、利用者・地域住民のため、安全対策や周知の徹底が求められます。

あわせて、地元住民とのまちづくり協議会及び駅周辺交通環境改善計画については、進捗状況を見守る必要があります。

竹ノ塚駅付近の鉄道高架化及び駅路線下利用について

線路内に埋設が確認された銅矢板の撤去が必要となったため、鉄道事業者との連携、国や都の協力を得て、少しでも早い完成を目指す必要があります。

駅高架下利用等についても鉄道事業者と協議し、にぎわいや区民の生活に資する施設の誘致に努めていきます。

鉄道路線網の強化等について

地下鉄8号線区内延伸が実現するよう、交通政策審議会答申に示された、事業性確保に必要な沿線開発の取り組みを行うべく、PR活動等を強化し、地域の機運醸成を図る必要があります。

また、日暮里・舎人ライナーの通勤時の混雑緩和策について、当該沿線は大病院誘致等で人口増が見込まれる地域であり、引き続き東京都交通局に対し、混雑緩和を要請していきます。

本特別委員会は、鉄道及びバス路線網の誘致・拡充等の活動を推進しつつ、都市基盤の整備充実に向けて、引き続き調査研究を続けていく必要があります。



待機児童・子どもの貧困対策調査特別委員会

本特別委員会は、「待機児童対策」及び「子どもの貧困対策の推進」に関することについて調査研究を進めてきました。

待機児童対策について

保育定員拡大を図り、保育サービスと情報発信を充実させることにより、待機児童解消に努めてきました。2020年4月の待機児童ゼロを目指し、区全

体でバランス良い施設整備を進めていく必要があります。

また、長時間の預かり保育を実施する私立幼稚園への支援拡充や企業主導型保育の保育従事職員への処遇改善支援、認可保育所での定期利用保育の実施等、今後もニーズに合わせた的確な支援が求められます。

さらに、保育士の人材確保が重要であり、保育人材の待遇改善、確保に向けたさらなる支援が求められます。

加えて、どの教育・保育施設に通っていても一定レベルの教育・保育を受けることができる「質」の確保が望まれます。

子どもの貧困対策について

放課後の居場所や子ども食堂も着実に増加し、計画の実効性を担保するための子どもの貧困に関する事業の評価方法についても、必要に応じて見直しや改善を図る等、前進が見られます。

また、平成30年度も「子どもの健康・生活実態調査」を実施し、調査結果を反映していくとともに、子どもが地域につながる、経験や体験を積む機会を増やす施策等を充実させ、逆境を乗り越える力を醸成していくことが求められます。

本特別委員会は、子どもたちが健やかに生まれ育つ環境を整備するとともに、貧困が世代を超えて連鎖することのないよう、引き続き調査研究を続けていく必要があります。

災害・オウム対策調査特別委員会

本特別委員会は、災害・放射能・オウム真理教(アレフ)対策等に関することについて調査

研究を進めてきました。

他の自治体や民間企業、関係機関等との災害時協定や覚書の締結を推進し、避難所利用や物資・医療救護等、協力体制のさらなる強化に努めています。

避難所設置については、より詳細かつ具体的な計画を策定するよう強く求めていきます。

熊本地震の教訓を踏まえた対策、水防法の改正や防災関連のガイドラインを反映するための修正が防災会議で承認されました。

地域防災計画について

区が掲げる減災目標「死者をなくす」「区民生活の早期復興」の達成のため、防災に関する政策・方針決定過程や防災現場における女性の参画拡大に加え、高齢者や障がい者等により配慮した防災対策、地域や事業者、区との連携した防災活動が推進されることを要望しています。

係争中である過料処分取消事件について、一審では区の勝訴となりましたが、引き続き二審でも勝訴に向け活動していく必要があります。

今後、「オウム(アレフ)断固反対!」の姿勢を崩すことなく、区民・議員・区が丸となって、毅然とした姿勢で臨まなければなりません。

区民の安全・安心を実現するため、情報発信の一層の工夫と増進に加え、真に必要な施策を継続・推進していくことを要望してまいります。

本特別委員会は、さらに議論

を重ね、引き続き調査研究を続けていく必要があります。



エリアデザイン調査特別委員会

本特別委員会は、エリアデザインの推進等に関することについて調査研究を進めてきました。

各地域のエリアデザインについて

千住エリアは、大規模なマンション開発が計画され、保育需要等の増が見込まれるため、それらの動向を踏まえ、エリアデザイン計画を早急に策定する必要があります。

綾瀬・北綾瀬エリアは、公共施設の建替えや駅前再開発の動向を鑑み、2021年度中を目途にエリアデザイン計画の見直しを進めていきます。一方で、北綾瀬エリアデザインについては、地域住民の意向の把握に努め、真に必要なとされる計画を整備していく必要があります。

六町エリアは、将来を見据えた交通網の整備等、まちの強みを生かしたエリアデザインを推進していくことを要望します。

江北エリアは、都営住宅建替え等によって創出される用地にたいして、大学病院を核とした新たな拠点となるまちづくりを展開していくことを求めます。

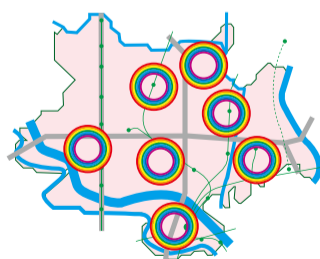
花畑エリアは、文教大学の誘致が実現し、学生の安全な歩行導線を確保する人道橋整備に向

けた草加市との協力体制構築、交通網整備、周辺地域の安全対策強化等を図る必要があります。

竹の塚エリアは、民間開発の動向を注視し、区の北の玄関として相応しい事業者を誘導することで、回遊性の高いものとしていくことを求めます。

西新井・梅島エリアは、西新井駅西口駅前広場及び東西自由連絡通路の整備や公共施設整備の再編、西新井公園計画の再構築を検討し、地域のさらなる活性化を図る必要があります。

本特別委員会は、建設的な議論をより一層重ね、調査研究を続けていく必要があります。



スマートフォンやタブレットでもインターネット録画中継を開始

今臨時会から、区議会ホームページに公開している本会議の録画映像が気軽に視聴できるようになりました。お手持ちのスマートフォン・タブレット端末から、ぜひご覧ください。

アドレス http://gijiroku.gikai-adachi.jp/video/g08_Video_Search_s.asp

会派役員の紹介

足立区議会自由民主党

- 団 長 新井 ひでお
- 幹事長 古性 重則
- 副幹事長 鴨下 稔
- 同 吉岡 茂
- 同 伊藤のぶゆき

足立区議会公明党

- 団 長 長井まさのり
- 幹事長 たがた 直昭
- 副幹事長 くぼた 美幸
- 同 いくら昭二

日本共産党足立区議団

- 団 長 ぬかが 和子
- 幹事長 はたの 昭彦
- 副幹事長 浅子 けい子
- 同 針谷 みきお

足立区議会立憲・民主の会

- 幹事長 おぐら 修平
- 副幹事長 鈴木 あきら
- 同 米山 やすし

編集後記

今臨時会では、副議長長の選出をはじめ、各委員会委員等の議会構成が変わりました。

また、各会派役員変更に伴い、広報委員会の構成も変わりました。今後も、読みやすく、分かりやすい紙面づくりに努めます。

(議 長) かねだ 正
(副 議 長) 岡安 たかし
(議会運営委員長) 渡辺ひであき
新井 ひでお たがた 直昭
古性 重則 くぼた 美幸
鴨下 稔 ぬかが 和子
吉岡 茂 はたの 昭彦
長井まさのり おぐら 修平